



薬剤部

～情報～

2019年11月



10月の採用薬品

ドネペジル塩酸塩OD錠3mg「サンド」 アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 サンド



【効】アルツハイマー型認知症及びレビー小体型認知症における認知症症状の進行抑制

【用】アルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制：
通常、成人にはドネペジル塩酸塩として1日1回3mgから開始し、1～2週間後に5mgに増量し、経口投与する。高度のアルツハイマー型認知症患者には、5mgで4週間以上経過後、10mgに増量する。なお、症状により適宜減量する。

レビー小体型認知症における認知症症状の進行抑制：
通常、成人にはドネペジル塩酸塩として1日1回3mgから開始し、1～2週間後に5mgに増量し、経口投与する。5mgで4週間以上経過後、10mgに増量する。なお、症状により5mgまで減量できる。

【副】添付文書参照

ベタメタゾン酪酸エステルプロピオン酸 エステルローション0.05%「MYK」 副腎皮質ホルモン外用剤 前田薬品工業



【効】湿疹・皮膚炎群（手湿疹、進行性指掌角皮症、脂漏性皮膚炎を含む）、乾癬、虫さされ、薬疹・中毒疹、痒疹群（ストロフルス、じん麻疹様苔癬、結節性痒疹を含む）、紅皮症、紅斑症（多形滲出性紅斑、ダリエ遠心性環状紅斑）、ジベル蓄褐色粧糠疹、掌蹠膿疱症、扁平紅色苔癬、慢性円板状エリテマトーデス、肉芽腫症（サルコイドーシス、環状肉芽腫）、特発性色素性紫斑（マヨッキー紫斑、シャンバーク病）、円形脱毛症、肥厚性癬痕・ケロイド、悪性リンパ腫（菌状息肉症を含む）、アミロイド苔癬、水疱症（天疱瘡群、シューリング疱疹状皮膚炎・水疱性類天疱瘡）

【用】通常、1日1～数回、適量を患部に塗布する。

【副】添付文書参照

10月の削除薬品

アリセプト錠3mg、アンフラベート0.05%ローション、オリベス点
滴用1%



10月の採用薬品の続き

リドカイン点滴静注液1%「タカタ」 抗不整脈剤 高田製薬



【効】期外収縮（心室性）、発作性頻拍（心室性）、急性心筋梗塞時及び手術に伴う心室性不整脈の予防
期外収縮（上室性）、発作性頻拍（上室性）

【用】点滴静脈内投与法：
静脈内1回投与が有効で、効果の持続を期待する場合に、心電図の連続監視下に点滴静脈内注射を行う。

通常、リドカイン塩酸塩として、1分間に1～2mg（0.1～0.2mL）の速度で静脈内注射する。必要な場合には投与速度を増してもよいが、1分間に4mg（0.4mL）以上の速度では重篤な副作用があらわれるので、4mgまでにとどめること。

必要に応じて24時間あるいはそれ以上連続投与しても差し支えないが、過量投与を避けるため、心電図の連続監視と頻回の血圧測定が必要である。

【副】添付文書参照

10月の採用薬品（特定個人薬）

タリージェ錠10mg 末梢性神経障害性疼痛治療剤 第一三共



【効】末梢性神経障害性疼痛

【用】通常、成人には、ミロガバリンとして初期用量1回5mgを1日2回経口投与し、その後1回用量として5mgずつ1週間以上の間隔をあけて漸増し、1回15mgを1日2回経口投与する。なお、年齢、症状により1回10mgから15mgの範囲で適宜増減し、1日2回投与する。

【副】添付文書参照

10月の採用薬品（院外専用薬）

メトレート錠2mg 抗リウマチ剤 あゆみ製薬



【効】関節リウマチ

局所療法で効果不十分な尋常性乾癬
関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症
関節症状を伴う若年性特発性関節炎

【用】 【副】添付文書参照

